重点・要点審議事業一覧表

〔　〕は参考値
（前回評価から新たな供用があり、残事業に対する便益の変化が生じていることから算出）

資料1

区分	番号	重点・要点	県・政令指定都市名	事業名 路線名	事業名 事業名	前回評価	事業計画等の変化 車線数	事業計画等の変化 事業延長（km）	事業計画等の変化 開通済延長（H28開通予定含む）（km）	事業計画等の変化 変更内容（H28開通予定含む）	事業費の変化 全体事業費（今回）（億円）	事業費の変化 全体事業費（前回）（億円）	事業費の変化 暫定事業費（今回）（億円）	事業費の変化 暫定事業費（前回）（億円）	事業費の変化 変化要因	計画交通量の変化 計画交通量（※2）（今回）（台/日）	計画交通量の変化 計画交通量（※2）（前回）（台/日）	計画交通量の変化 変化要因	費用便益比の変化 全体（※3）（今回）	費用便益比の変化 全体（※3）（前回）	費用便益比の変化 残事業（※4）（今回）	費用便益比の変化 残事業（※4）（前回）	H29年度以降開通予定等（H28.9時点）	その他（※5）	対応方針（原案）
復興	1	重点（事業費変動あり）	福島県	東北中央自動車道	相馬～福島（JCT間一体評価）	H27（再評価）	2/2	約45	10.7	阿武隈東道路　10.7km ・H28年度全線開通予定	1980［+20%］（震災前に完成した箇所の事業費は含まず）	1,646	-	-	・労務費高騰及び復興係数（※6）適用【＋285億円】 ・設計見直し関係(トンネル掘削支保パターン変更ほか)【＋49億円】 計　＋334億円	10,500	10,500	－	（防災機能向上に有効性有り）				相馬～相馬西　6.0km ・H30年度全線開通予定 阿武隈東～阿武隈　5.0km ・H29年度全線開通予定 霊山道路　12.0km ・H29年度全線開通予定 霊山～福島 ・霊山IC～福島保原線IC　7.4km H32年度開通予定 ・国道４号IC～福島北JCT　2.0km H32年度開通予定	－	事業継続
	2	要点（事業費変動あり）	岩手県	三陸沿岸道路	釜石～宮古（JCT間一体評価）	H27（再評価）	2/2	約50	17.2	－	1,740［+13%］（震災前に完成した箇所の事業費は含まず）	1,536			・労務費高騰及び復興係数（※6）適用【＋204億円】 計　＋204億円	11,800	11,800		（防災機能向上に有効性有り）				釜石山田道路 ・釜石JCT～釜石両石IC　5.6km H30年度開通予定 ・釜石北IC～大槌IC　4.8km H31開通予定 ・大槌IC～山田南IC　8.0km H30年度開通予定 山田～宮古南　14km ・H29年度全線開通予定	－	事業継続
	3	要点（事業費変動あり）	岩手県	東北横断自動車道釜石秋田線	釜石～花巻（JCT間一体評価）	H27（再評価）	2/2	約80	62.5	－	1,354［+3%］（震災前に完成した箇所の事業費は含まず）	1,315			・労務費高騰及び復興係数（※6）適用【＋39億円】 計　＋39億円	9,000	9,000		（防災機能向上に有効性有り）				釜石～釜石西　6km ・H30年度開通予定 遠野住田～遠野　11km ・H30年度開通予定	－	事業継続
	4	要点（事業費変動あり）	岩手県	宮古盛岡横断道路	宮古～盛岡（JCT間一体評価）	H27（再評価）	2/2	約66	10.7	-	2,248［+10%］（震災前に完成した箇所の事業費は含まず）	2,039	－	－	・労務費高騰及び復興係数（※6）適用【＋209億円】 計　＋209億円	5,200	5,200	－	（防災機能向上に有効性有り）				宮古～箱石 ・宮古西道路（国）　4.0km H32年度開通予定 ・宮古西道路（岩手県）3.3km H30年度開通予定 ・摂目～腹帯地区　7.0km H32年度開通予定 ・下川井地区　2.0km H31年度開通予定 ・川井～箱石地区　7.0km H32開通予定 区界～簗川　8km ・H32年度全線開通予定 都南川目道路 ・田の沢IC～手代森IC　3.4km H31年度全線開通予定	－	事業継続
通常	5	要点（事業費変動あり）	福島県	一般国道６号	常磐バイパス	H26（再評価）	4/4	27.7	20.9	・1.3km開通（H27.3） ・1.4km開通（H27.9） ・1.4km開通（H28.3）	1050［+1%］	1,040	-	-	・J設計見直し関係（縦断計画変更ほか）【+10億円】 計　＋10億円	29,600	29,400	・ネットワークの変更（効果バイパス）	－	1.5	〔3.4〕	5.8	H29年度全線開通予定（H30以降、残工事有）	－	事業継続
	6	要点	岩手県	一般国道46号	盛岡西バイパス	H25（再評価）	2/4～4/6	7.8	7.8 2/4暫定3.6km 4/4完成1.1km 4/6暫定3.1km	・1.2km開通（H25.12）	430	430	351	351	－	30,300	30,300		－	1.8	〔2.0〕	7.3		H25第４回東北地整事業評価監視委員会	事業継続
	7	要点	福島県	一般国道4号	鏡石拡幅	H25（再評価）	4/4	4.5	－	－	112	112	－	－	－	33,000	33,800	常磐道４車化(いわき中央～広野、山元～亘理)(H28事業化)	2.5	2.7	10.1	6.4	H31年度一部開通予定	H25第４回東北地整事業評価監視委員会	事業継続
	8	要点	福島県	一般国道13号	福島西道路(Ⅱ期)	H23（新規評価）	4/4	6.3	－	－	245	245	－	－	－	－	22,700	－	－	1.7	－	－		H23第７回社整審道路分科会東北地方小委員会	事業継続
	9	要点	福島県	一般国道121号	湯野上バイパス	H23（新規評価）	2/2	8.3	－	－	240	240	－	－	－	9,200	9,400	・最新の将来OD表推計見直し（※1）	1.3	1.4	1.5	－		H23第７回社整審道路分科会東北地方小委員会	事業継続

※1. H25年度より各交通機関共通の統合推計モデルを用いて将来交通量を算出。
（平成22年度に将来交通需要推計の改善の取り組みとして、各交通機関で将来フレームを統一するとともに、道路ネットワークの設定を、計画も含めたフルネットワークから、現況と事業化済箇所のみのネットワーク等に変更）

※2. 計画交通量 欄内の「－」は、費用便益比（残事業を含む）の算出が対象外となった場合、計画交通量の算出も対象外。
※3. 費用便益比（全体）欄内の「－」は、交通需要量、事業費、事業期間等の変化量が＋10%以内であり、前回評価時の感度分析の範囲内となるため、算出対象外。
※4. 費用便益比（残事業）欄内の「－」は、※3に同じ。但し、前回評価時から事業区間内に部分供用がある場合は、残事業の便益に変化が生じるため算出

※5. 再評価効率化の観点で、事業費等の変動がない事業において、事業の必要性にかかる資料（整備効果等）の添付を省略している。
その事業においては東北地整HPに掲載している記載の委員会資料で確認可能

※6. 資材やダンプトラック等の不足により、作業効率の低下が生じており、積算額と実支出が乖離。このため間接費を割り増し。